

日経MJ 2016年 6月15日付

利益拡大、影響力の広がり次第

「スーパースターの経済学」という論文がある。私が大学院のときに講義を受けた、故シャーン・ローゼン教授によるものだ。なぜ、イチローや錦織選手のような一流のプレーヤーは、最高レベルの高校教師の何百倍もの収入が稼げるのか、という点について論じたものである。そこで鍵となるのは、影響力のリーチの長さである。イチローや錦織選手が活躍すれば、それはテレビやインターネットなどを通じて非常に多くの人に伝えられる。かりに2000万人の人に伝わり、それぞれの人がそれに100円の価値を見いだしたとしても、20億円という計算となる。

これに対して、どんなに素晴らしい高校の教師であっても、その影響力は教室



伊藤元重の

エコノウオッチ

という狭い空間の中に限られてしまう。教室に40人の生徒がいれば、その数だけの広がりとなる。もちろん一人の優れた教師は生徒の一生に影響を及ぼす重要な存在となりうることもある。しかし、そうしたことがあっても、それが教師の収入に反映することは少ない。社会的リーチの長さというが、影響力の広がりということは、ここで例にあげた個人の収入だけでなく、企業の利益でも言えることだ。

ビジネスの世界での成長の秘訣は、こうした社会的リーチの長さや広がりを中心に拡大していくのかという点にかかっている。フランチャイズビジネスはその典型だ。コンビニや外食産業で素晴らしい仕組みを確立すれば、それをフラン

AIがビジネス拡大後押し

チャイズで広げていくことによって、大きな経済的な価値を生み出すことができる。レギュラーチェーンで、自前の資本と人材で店を増やしていくということも可能だ。ただ、短期間で広げていくという意味では、フランチャイズの方が優れている。

情報技術の革新は、すぐれたノウハウやビジネスを世の中に広げていく大きなチャンスを提供しようとしている。先ほど、高校の優れた教師のノウハウや経験は教室の外に広げることが難しいと言ったが、ITなどを活用することでそれが可能になることもある。授業を映像ソフトにすることができれば、より広い世界に発信することができる。イチローのプレーが映像に流れるように、高校教師の講義を流すことも可能になる。映像だけではない。すぐれた指導がインターラクティブなソフトに乗せられれば、新しい教育の仕掛けとなる。

AI（人工知能）によるサービスは、こうしたノウハウを広げていく活動を様々な分野で可能にしてくれる。医療の分野では、いずれ診断はAIに任せられた方がよいとも言われる。もっとも、優れた医師たちの診断のノウハウをAIの上に乗せることができれば、世界中の人がその恩恵を受けることができる。資産運用などのアドバイスでも、同じようなことが起こりつつある。クラウドやAIは、これまで局所に閉じ込められていたノウハウや知見を世界中の人に広く利用可能にする道を開いた。より広い顧客を取り込むということがビジネスの成功の鍵だとすれば、この動きの重要性は大きい。

(学習院大学国際社会科学部教授)